

特集号

# 災害における対策!で減災! 東京版

今年4月14日および4月16日未明に発生した熊本地震から、2ヶ月以上が経過しました。熊本を中心とする九州地方では今も現在も余震が続き、6月中では新潟県上越地方や内浦湾（北海道）、茨城県南部でも震度4を超える地震が観測されています。日本全国どこでも大地震が起こる可能性があると言っても過言ではありません。

5月の大阪版に続き、  
東京本社、東京浦安工場での『災害備蓄品』と『避難場所』を取り上げます。

## 1 災害備蓄品を確認しましょう!



東京本社と浦安工場にある備品を調べました。  
東京には備蓄品として非常食セットが6セットあります。  
非常食セットの内訳は、小梅粥×2、わかめご飯、パンの缶詰×2、カンパン、山菜おこわ、海鮮おこわ、五目ご飯、といった食料の他に、調理用用水、発熱剤、ウェットティッシュが入っています。またセットとは別に2L保存水も36本常備されています。他に東京本社には簡易トイレ120個、浦安工場には毛布や懐中電灯も備蓄されています。

▲非常食セット 備蓄品の保管場所、数量、賞味期限等、各自確認しておきましょう!

## 2 避難場所を確認しましょう!

### ◎東京本社

#### ◆広域避難場所

震災時、火災の延焼による危険から避難する場所。

#### ◆区民避難所（地域防災拠点）

災害による家屋の倒壊・焼失等で被害を受けた人の一時的な生活の場所。

#### ◆地域集合場所

隣近所の安否確認や応急を行ったり、広域避難場所へ避難するために一時的に集まる場所で、町会・自治会等の単位で定められている。

	広域避難場所	区民避難所 (地域防災拠点)	地域集合場所
東京本社	青山墓地一帯	青山いきいきプラザ 青南小学校	青山三・四丁目 町会事務所前

### ◎東京浦安工場

#### ◆広域避難場所

大規模な火災が発生した時、輻射熱や煙などから身を守り、安全を確保する場所。

#### ◆避難所

生活の場が失われた場合に一時的な生活本拠地として宿泊滞在するための施設。

#### ◆避難場所

災害が発生して一時的な避難が必要な時に、身の安全を確保する場所。

	広域避難場所	避難所	避難場所
東京浦安工場	江戸川南部一帯	浦安市運動公園 見明川中学校・小学校	大三角公園 弁天ふれあいの森公園

避難場所については各自治体が作成している『防災マップ』に詳しく明示されています。  
災害が起きた時に、自分や家族の身を守る為、会社・自宅での備蓄品や避難場所について確認しましょう。

